

鈴鹿市民のコミバスをよくする会 第5回総会 議案

2018年2月19日 ジェフリーすずかホール

高齢者と交通弱者のための 「無料の生活交通」を作らしましょう！

■総会次第■

- (1)会長挨拶<私たちのめざすもの>
- (2)無料バスに期待する想い
- (3)総会議事 ①この2年間の主な活動報告
 ②今期の活動方針
 ③会計報告
 ④役員選出
- (4)閉会挨拶



末松則子市長にコミバスの会の提案を伝えて懇談しました。
2019年1月16日

(1)この2年間の主な活動報告

・第4回総会(2018-2-21)で4つの重点活動を決めました。

①1万人アンケート、②先進地見学会、③自治会老人会への働きかけ・地域懇談会、④鈴鹿市への働きかけと懇談。この4点を念頭に時々の情勢に合わせた活動を進めてきました。

①「生活交通を考える講演会」 2018年8月24日(金)文化会館さつきプラザ

- ・講師: 可児紀夫氏 愛知大学非常勤講師 交通権学会会員。「交通権」は基本的人権のひとつ。
- ・B4カラーチラシ(アンケート返信ハガキ付)3万枚印刷、2万5千枚新聞折込
- ・老人会会長など163人に案内郵送・届け
- ・講演会参加者90名、アンケート返信ハガキ32名

②先進地見学会

関町 2018年5月18日 事務局4名

・人口9万人、面積470km²。運賃100円のシティバス10路線。一部地域にデマンド乗合タクシー300円

刈谷市 2019年1月21日 事務局4名 <別紙資料>

・人口15万人、面積50km²。6路線で市内全域をカバー。運賃無料、年間経費1億9千万円、70万人利用。

③鈴鹿市への働きかけ

・2019年1月16日 市長懇談(2回目)末松市長、太田都市整備部長

「地域懇談会でどの地域でも交通の不便を解消してほしいという声ができる」

「みなさんの思いと大きな違いはない」……末松市長

・ 3月28日、鈴鹿市地域公共交通会議で「新たな交通システム導入のための手引書(案)」配布
乗合タクシー(相模原市をモデル)検討の記述→市長懇談を緊急申し入れ

・2019年8月9日 市長懇談(3回目)末松市長、谷口副市長、太田都市整備部長

「運行方法や料金(有料・無料)について、あらゆる可能性を検討」

「持続可能な方法を検討」

・2019年9月19日 4者懇談(谷口副市長・太田部長×辻井、橋詰)

検討会議・乗合タクシー手引書(案)/運賃無料・玉城町方式

・2020年2月18日 市長懇談(4回目)末松市長、

④末松市長の公約

※昨年4月の市長選挙で末松市長が公約の柱に公共交通の充実を掲げたことは、この間の運動の成果。

公共交通充実へ実証実験 鈴鹿・末松市長が意向

「人口減社会の中、公共交通の運営が厳しくなる一方、超高齢化でお年寄りからの需要は高まっている。コミュニティバス「Cーバス」を運行する鈴鹿市も同様で、末松市長は公共交通の維持・充実を公約に掲げていた。末松市長は、既存の民間バス路線の維持を前提とした上で、「各地域を(細かく)循環するバスと、市の根幹を走るバスの二つのシステムを組み合わせた公共交通を確立させたい」と強調。モデル地区を定めて本年度中に実証実験に入りたいとし、調査費を六月の補正予算に計上する方針を示した。」
(中日新聞2019年5月8日)

⑤コミバス署名活動

※市長の公約を後押しして実現を早める立場で署名活動を展開しました。

- ・2019年8月中旬～11月末の3ヶ月半で、**12,113筆**の署名
- ・人から人へと署名の広がり
- ・**スーパー前署名** 7店舗様店頭で 2,523筆(店頭1,330、持参533、訪問660)
オークワ木田店、オークワ高岡店、チャレンジハウス磯山店、マックスバリュ若松店、マックスバリュ長太店、マックスバリュ岡田店、マックスバリュ鈴鹿店
事前に署名用紙と案内チラシ8,000枚
- ・郵送で66通
- ・**署名集約集会** 10月19日 ジェフリーすずかホール 36名参加、1,405筆持参、合計9,263筆に。
- ・11月26日「署名提出と懇談のお願い」市長に申し入れ

⑥その他

- ・ニュースの発行 7回 +号外2回
- ・会員 147名(入会42名、退会38名)
- ・役員会 2カ月に1回 ・事務局会議 2カ月に1回
- ・粗品 会費集金時にタオル
- ・1万人アンケート 今期約100枚、合計4,860枚。2018年末で終了。



(2) 今期の活動方針

- ①市長・副市長懇談を軸に、市民の願いを行政へ届け、提案を続ける。
市の施策を注視しながら、実現に向けた活動をすすめる。
- ②広く市民にアピールする活動。自治会老人会への働きかけ。
講演会、シンポジウムなどの開催、アンケートや署名も検討。
- ③先進地見学会、調査活動。

<要求の4つ力点>

- ①乗車運賃無料
- ②中央循環バスと地域巡回オンデマンドバスの連携
- ③地域ぐるみで元気なまちづくり(1から3の行政区で地域内巡回)
- ④利用者にも行政にも財政負担の少ない運行形態(試算提案)

(3) 会計報告

鈴鹿市民のコミバスを良くする会 会計報告 2018.1.1～2019.12.31				
収入		支出		
前年度繰越金	199,183	活動費	関町／刈谷市視察	15,931
個人会員会費2018年	150,000		タオル代 180+180本	83,970
個人会員会費2019年	146,000		講演会開催費	19,690
団体会員会費	70,000		新聞折込チラシ印刷	96,410
カンパ	5,000		チラシ新聞折込	104,093
			A4カラーチラシ印刷	6,000
			アンケート活動お茶等	6,476
		郵送費	ニュース等郵送	59,586
		事務費	ジェフリー会場費	4,050
			用紙・封筒・署名用紙印刷等	50,294
			次期繰越金	123,683
収入合計	570,183		支出合計	570,183

(4) 役員選出

【会長】辻井良和 【副会長】西村敏一

【事務局】谷口 茂、田中美代子、萩森美知子、中川信子、樋口 出、橋詰圭一

【役員】勝谷鐵幸、中川一春、糸柳章司、豊留正利、矢板橋充子、前田みね子、前田和子

※事務局と役員協力者は、途中で補充していきます。